

## 2003（平成 15）年度活動報告

### 組織の状況

#### 〔 1 〕 会員の状況

会員総数： 1 4 2

地域 組織 会員	名 称	分担金口数（所属会員数）	
	吉川町日中友好協会	1 口	（ 46 人）
	上越日中友好協会		（ 45 人）
	新発田市日中友好協会	2 口	（ 27 団体； 95 人）
	（財）柏崎地域国際化協会	1 口	（ 42 団体； 419 人）
	栃尾市日中友好協会	2 口	（ 106 人）
	中之口村日中友好協会	1 口	（ 85 人）
	いわふね日中友好協会	1 口	（ 5 団体； 54 人）
	小計	7 地域組織（ 8 口）	
直 属 会 員	地域区分 \ 会員数	団体会員数 （会費口数）	個人会員数
	下越地区	3 9 団体（ 5 2 口）	新潟市 70 人 その他 18 人
	中越地区	1 団体（ 1 口）	3 人
	上越地区	2 団体（ 3 口）	1 人
	県外		1 人
	小計	4 2 団体（ 5 6 口）	9 3 人
合 計	7 地域組織（ 8 口）	4 2 団体（ 5 6 口）	9 3 人

## 会議開催経緯

### 〔 1 〕 第一回常任理事会

開催期日：2003年5月23日

会場：技術士センタービル

出席者数：18名（うち、委任状出席者5名）

議事：以下のとおり

- 1) 2003年度総会に付議する事項の事前協議
  - (1) 2002年度活動報告案と決算案について
  - (2) 定款の一部変更案について
  - (3) 2003年度活動計画案と予算案について
  - (4) 理事・監事の一部異動について
  - (5) 顧問の一部異動について
- 2) 株式会社ニイハル株式の処理について
- 3) 2003年度総会の日程等について

### 〔 2 〕 第一回理事会

開催期日：2003年5月29日

会場：技術士センタービル

出席者数：29名（うち、委任状出席者14名）

議事：以下のとおり

- 1) 2003年度総会に付議する事項の事前協議
  - (1) 2002年度活動報告案と決算案について
  - (2) 定款の一部変更案について
  - (3) 2003年度活動計画案と予算案について
  - (4) 理事・監事の一部異動について
  - (5) 顧問の一部異動について
- 2) 株式会社ニイハル株式の処理について
- 3) 2003年度総会の日程・運営等について

### 〔 3 〕 2003年度総会

開催期日：2003年6月21日

会場：ホテル新潟

出席者数 151名（うち、委任状出席者 91名）

議事：以下のとおり

- 1) 2002年度活動報告と決算並びに財産目録・貸借対照表の承認の件
- 2) 定款の一部変更の件
- 3) 2003年度活動計画と予算の承認の件
- 3) 理事・監事の一部異動に伴う理事・監事の選任について
- 4) 顧問の一部異動に伴う顧問の選任について

#### 〔 4 〕 組織点検委員会

##### 1 ) 第一回

委員会の構成：以下の 17 名

会長高橋傳一郎 / 副会長上之山喜男 / 理事長奥村俊二 / 理事  
中山輝也 / 同谷村知行 / 常任理事五十嵐祐司 / 同櫛谷則文 /  
同山本昭二 / 同宮澤一也 / 同巾昭 / 同樋口栄治 / 同本田淳 /  
同佐藤巧 / 同春日健一 / 同鎌田佳和 / 同八木浩幸 / 常任理  
事・事務局長今野正敏

開催期日：2003 年 7 月 11 日

会場：協会事務所

出席者数：8 名

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) 座長の選任
- ( 2 ) 構成メンバーと会議の名称・位置づけ
- ( 3 ) 会議の持ち方
- ( 4 ) 組織点検委員会における議論の有り様
- ( 5 ) 会員や地域日中との関係のあり方
- ( 6 ) 国際交流組織のなかでの県日中の位置づけと官が実施する国際交流事業とのかかわり
- ( 7 ) 組織の有り様

##### 2 ) 第二回

開催期日：2003 年 7 月 25 日

会場：協会事務所

出席者数：6 名

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) 組織点検委員会と常任理事会・理事会との関係
- ( 2 ) 常任理事会・理事会の持ち方
- ( 3 ) 市町村合併が予定されている地域の地域日中と県日中との関係
- ( 4 ) 官が実施する国際交流事業との関係
- ( 5 ) “白音諾勒村小学校”への支援
- ( 6 ) 会員・地域日中との関係を濃いものにするために
- ( 7 ) 理事・常任理事の有り様

##### 3 ) 第三回

開催期日：2003 年 8 月 8 日

会場：協会事務所

出席者数：6 名

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) “白音諾勒村小学校”への支援
- ( 2 ) 会員・地域日中との関係を濃いものにするため  
...情報発信の強化
- ( 3 ) 会員・地域日中及び県民の交流への参画を強化  
するため...参画の手法

- ( 4 ) 財政補填のため  
...有償受託事業のボリュームアップ
- ( 5 ) 実態のある活動を展開できる理事・常任理事の有り様

4 ) 第四回

開催期日：2003年8月22日

会場：協会事務所

出席者数：4名

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) 実態のある活動を展開できる理事・常任理事の有り様

5 ) 第五回

開催期日：2003年9月12日

会場：協会事務所

出席者数：6名

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) 理事・常任理事に執行責任を分担してもらう仕組みについて
- ( 2 ) 企業間提携促進のための“ BCMS ”について

6 ) 第六回

開催期日：2003年9月26日

会場：協会事務所

出席者数：8名（うち、委任状出席者4名）

協議事項：以下のとおり

- ( 1 ) 組織点検委員会としてのまとめ
- ( 2 ) 今後の検討課題
- ( 3 ) 理事会日程

[ 5 ] 第二回理事会

開催期日：2003年10月9日

会場：技術士センタービル

出席者数：36名（うち、委任状出席者17名）

議事：以下のとおり

1 ) 組織点検委員会における検討結果の承認

- ( 1 ) 自治体が主導する国際交流協会などへの統合の動きについて  
...民間交流組織としての県日中の地位は保持されるべきである
- ( 2 ) 官が実施する国際交流事業との関係について...官が民にとって替わることは現実的ではない  
（“白音諾勒村小学校教育条件改善協力事業”や“黒龍江省嫩江中流域生態保全林・生態農業地帯造成協力事業”に取り組むに当たって新潟県・新潟県国際交流協会・JICAとの協力関係を築いてきたが、それをモデルとすべきであろう）
- ( 3 ) 会員・地域日中及び県民との関係を濃いものにし、事業への参画を強化するために...会報・インターネット・電子メール・FAX等を有機的に結びつけた情報発信の仕組みを整えるとともに、植林ボランティアの派遣など会員・地域日中及び県民が参画し得る事業実施形態を執る

- (4) 常任理事会と理事会の関係について...定款の規定に沿い理事会を中心として会務を運営する
- (5) 理事・常任理事の執行責任分担について...実務をこなし得るよう、組織をしっかりと支え得るよう以下の担当制を執る
  - “会報担当”：巾昭常任理事・渡辺実常任理事・本田淳常任理事
  - “希望工程担当”：山本昭二常任理事・宮澤一也常任理事
  - “嫩江PJ担当”：春日健一常任理事・八木浩幸常任理事
  - “企業間提携担当”：鎌田佳和常任理事・樋口栄治常任理事
- 2) 組織点検委員会が積み残した課題の承認並びに検討グループの設置承認
  - (1) 積み残した課題...財政及び組織の中軸の検討
  - (2) 検討グループの選任...以下のとおり構成する  
常任理事巾昭 / 同山本昭二 / 同春日健一 / 同宮澤一也 / 同鎌田佳和 / 同佐藤巧 / 常任理事・事務局長今野正敏
  - 3) 黒龍江省外事弁公室との協議について
  - 4) 友好県省 20 周年記念行事について

〔6〕上半期会計監査

期日：2003年10月23日

監査者：黒井哲司監事

〔7〕第一回財政等検討委員会

委員会の構成：以下の7名

常任理事巾昭 / 同山本昭二 / 同春日健一 / 同宮澤一也 / 同鎌田佳和 / 同佐藤巧 / 常任理事・事務局長今野正敏

開催期日：2003年10月24日

会場：協会事務所

出席者数：4名

協議事項：以下のとおり

- 1) 名称の決定及び座長の選任
- 2) 検討事項...組織の中軸人事と財政の安定・強化

〔8〕第二回財政等検討委員会

開催期日：2003年11月14日

会場：協会事務所

出席者数：4名

協議事項：以下のとおり

- 1) 財政内容の検討

〔9〕第三回理事会

開催期日：2003年11月21日

会場：技術士センタービル

出席者数：30名（うち、委任状出席者19名）

議事：以下のとおり

- 1) 黒龍江省との協議ミッション構成メンバーと日程の承認
- 2) “嫩江流域生態モデル林建設計画”に係る協議方針の承認
- 3) “白音諾勒村小学校教育条件改善事業”に係る協議方針の承認
- 4) “BCMS”に係る協議方針の承認

〔10〕第三回財政等検討委員会

開催期日：2003年12月12日

会場：協会事務所

出席者数：5名

協議事項：以下のとおり

- (1) 組織の中軸人事...正副会長職・正副理事長職・事務局長職

### 関係団体への役員の派遣

- 1) 新潟・哈爾濱経済技術交流促進協会の副会長に...高橋傳一郎会長を派遣
- 2) 新潟県日中経済交流懇話会の顧問に...高橋傳一郎会長を派遣
- 3) 新潟・大連友好交流委員会の委員長に...高橋傳一郎会長を派遣
- 4) 中国総領事館新潟誘致促進協議会の委員に...高橋傳一郎会長を派遣
- 5) 新潟空港3000m滑走路建設促進期成同盟会の理事に...高橋傳一郎会長を派遣
- 6) 新潟県トキ保護募金推進委員会の副会長に...高橋傳一郎会長を派遣
- 7) 環日本海経済研究所(ERINA)の評議員に...奥村俊二理事長を派遣
- 8) 新潟県対外科学技術交流協会の顧問に...奥村俊二理事長を派遣
- 9) 社団法人日中友好協会の正会員・幹事に...巾昭常任理事を派遣
- 10) 新潟県日中経済交流懇話会の幹事に...本田淳常任理事を派遣
- 11) 新潟県中国交流推進戦略会議の構成メンバーに...今野正敏常任理事・事務局長を派遣

### 事業実施の方針

2002年度に引き続き、以下の二点を重点とした活動を展開しました

1) 情報の発信活動

日中友好活動に係る県内の動向を幅広くフォローアップする情報の発信に努めました

2) 草の根レベル開発協力事業の検討・実施

黒龍江省の辺境・貧困地域の民生安定・開発に係る以下のプロジェクトに取り組みました

大慶市杜爾伯特蒙古族自治县白音諾勒郷“白音諾勒村小学校教育条件改善協力事業”  
“黒龍江省嫩江中流域生態保全林・生態農業地帯造成協力事業”

## 特定非営利活動に係る事業

### 情報の発信

#### 〔 1 〕 会報の発行

第 34 号 2004 年 1 月 9 日発行 750 部

#### 〔 2 〕 インターネットによる情報の収集と発信

当協会の Web サイト <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/>

### 草の根レベル開発協力事業の検討・実施

#### 〔 1 〕 大慶市杜爾伯特蒙古族自治県教育条件改善事業 “ 愛心工程 ” との連携・協力

##### 1 ) 協力事業名

白音諾勒郷 “ 白音諾勒村小学校教育条件改善協力事業 ”

##### 2 ) 事業実施機関

杜爾伯特蒙古族自治県人民政府 ( 教育局 ) ・ 白音諾勒郷人民政府 ・ 白音諾勒村小学校

##### 3 ) 事業仲介機関

黒龍江省人民政府外事弁公室

##### 4 ) 経緯

( 1 ) 2003 年 6 月末、白音諾勒郷人民政府より “ 白音諾勒村小学校 ” の現況レポート並びに支援協力を得て整備を要する教育設備機器等のリストが寄せられる ( 黒龍江省外事弁公室経由 )

( 2 ) 2003 年 10 月 16 日、来県中の黒龍江省外事弁公室代表団 ( 団長趙爾力副主任 ) と支援協力の枠組みについて協議。併せて、白音諾勒郷政府 ・ 白音諾勒村小学校との直接協議のためのミッション受入を提案し、同意を得た。

( 3 ) 2003 年 11 月 21 日、第三回理事会において “ 白音諾勒村小学校 ” への支援協力に係る協議方針を承認

( 4 ) “ 杜爾伯特蒙古族自治県白音諾勒郷「白音諾勒村小学校」教育条件改善協力事業打合せミッション ” を派遣

日程：2003 年 12 月 3 日 ~ 7 日

構成：山本昭二常任理事 / 宮澤一也常任理事 / 春日健一常任理事 / 八木浩幸常任理事 / 今野正敏常任理事 ・ 事務局長

##### 5 ) 協力の枠組み ( 合意事項 )

( 1 ) 教育設備機器 ( 机と椅子 ・ 幻灯機 ・ 顕微鏡 ・ 録音機 ・ テレビ ・ DVD ・ プロジェクター ・ 印刷機 ・ 複写機 ・ パソコン及びその周辺機器 ) の購入設置資金を支援する

( 2 ) 支援期間は計三ヵ年とする

( 3 ) 支援金は 2004 年以降毎年 5 月ごろ持参する

( 4 ) 支援金を持参するミッションは、教育設備機器の運用 ・ 管理状況に関する問題点や次年度以降の支援内訳について協議する

6) 支援金の原資

(1) 「希望工程」募金額(現在高) 616,867 円

以下は、2003 年度内の募金実績

2003 年 4 月 第 15 回新潟「大中国展」チャリティーオークション 21,150 円

2003 年 4 月 第 15 回新潟「大中国展」会場内一般募金 5,937 円

2003 年 5 月 栃尾日中 総会参加者 16,440 円

2003 年 6 月 \*個人(匿名) 7,000 円

2003 年 6 月 新潟県日中 総会参加者 47,200 円

2003 年 6 月 \*企業(石川県金沢市)大広北陸様 1,136 円

2003 年 6 月 柏刈日中 総会参加者 12,880 円

2003 年 7 月 \*個人(千葉県千葉市)敬愛大学 樋口 泰弘 様、他 9 名 10,000 円

2003 年 7 月 新発田日中 総会参加者 29,001 円

(2) “人民元”募金額(現在高) 3,080.09 元

7) 新潟・国際協力ふれあい基金への助成申請と結果

(1) 2003 年 12 月 24 日付けにて助成申請

(2) 2004 年 3 月 12 日付けにて助成決定(確定助成額: 821,000 円)

...支援金の原資に充当

8) “杜爾伯特蒙古族自治县白音諾勒郷「白音諾勒村小学校」教育条件改善協力事業打合せミッション”報告会の開催

開催期日: 2004 年 2 月 13 日

会場: 技術士センタービル

参加者数: 37 名

{ 2 } “黒龍江省嫩江流域生態モデル林建設計画”との連携・協力

1) 協力事業名

黒龍江省嫩江中流域生態保全林・生態農業地帯造成協力事業

2) 事業実施機関

黒龍江省林業庁・黒龍江省防護林研究所・黒龍江省科学技術庁

3) 事業仲介機関

黒龍江省外事弁公室

4) 助成機関

JICA 東京国際センター

5) 経緯

(1) 2003 年 4 月 10 日、JICA(国際協力機構)“草の根技術協力”の活用に関して、黒龍江省外事弁公室からこれに賛同する旨の回答が寄せられる

(2) 2003 年 6 月 27 日、JBIC(国際協力銀行)に対し“発掘型案件形成調査”「関心表明」・「資格審査」を提出

(2) 2003 年 7 月 29 日、JBIC に対し“発掘型案件形成調査”「プレプロポーザル」を提出

(3) 2003 年 9 月 4 日、上記「プレプロポーザル」が要旨以下の事由により不採択となる

・案件としては有望

・日本政府としては了解した

・円借款候補となり得る可能性はある

・調査の規模が大き過ぎる

(4) 2003 年 9 月 5 日、JICA 東京国際センターに対し、「市民参加協力支援事業」による助成申請を再提出する

- (5) 2003年9月16日、JICA“草の根技術協力”のどの枠組みを活用するかに関して同東京国際センターと打合せの結果、要旨以下の助言を受ける
  - ・本案件は対等なパートナーとしての県省間技術協力を軸として取り扱うのがベターと思うし、その意味で「地域提案型」の枠組みが適当と思われる
  - ・本案件をどのような枠組みの下で進めるかを協議するコンタクトミッションを先ず派遣することが必要ではないか
- (6) 2003年10月29日、中国国家林業局長を団長とする代表団が来県した機会を捉え、円借款の可能性に関して国家林業局の見解を伺ったところ要旨以下の助言を受ける
  - ・円借款案件とすることに異存はない
  - ・黒龍江省からの申請を待つ
  - ・規模が大きすぎる... 1 / 3ほどの規模で事業化を図ったらどうか
- (7) 2003年10月8日、JICA東京国際センターの「市民参加協力支援事業」による助成が内定する
- (8) 2003年10月16日、来県中の黒龍江省外事弁公室代表団（団長趙爾力副主任）と支援協力の枠組みについて協議。併せて、コンタクトミッション受入を提案し、同意を得た。
- (9) 2003年11月6日、JICA東京国際センターとの間で「市民参加協力支援事業合意書」を締結（承認助成額 493,060円 確定助成額 368,300円）
- (10) 2003年11月21日、第三回理事会においてコンタクトミッションの派遣並びに協議方針を承認
- (11) 「黒龍江省嫩江流域生態モデル林建設計画」実行可能性調査コンタクトミッション」を派遣

日程：2003年11月30日～12月7日

構成：坂井康一新潟県国際交流課長 / 平田敏彦新潟県対外科学技術交流協会副理事長 / 春日健一常任理事 / 八木浩幸常任理事 / 山本昭二常任理事 / 宮澤一也常任理事 / 今野正敏常任理事・事務局長

## 6) 協力の枠組み（合意事項）

### (1) 協力対象地域と事業規模・事業内容

対象地域：“黒龍江省嫩江流域(市県部分)防護林体系建設工程規劃 1999～2015”における重点実施地域

事業規模：28.15万haの1 / 3程度(以下約10万haという)

事業内容：水源涵養林・水土保持林・護岸堤防防護林・農地防護林・防風固砂林・草地牧場防護林の造成並びに“生態農業地帯”の造成

### (2) 事業展開

#### 第一段階

##### 先行協力事業

“新江実験林場”における技術協力展示林(仮称「新潟県黒龍江省友好・共生の森」)15haの造成実施計画・実施設計の策定

“新江実験林場”における両県省民参加植樹ボランティアによる植林

#### 第二段階

##### 国際協力機構(JICA)の「草の根技術協力」の援用

“新江実験林場”における320ha程度の生態モデル林造成に係る技術協力・技術交流

“嫩江”中流域における約 10 万 ha を対象とした植樹造林を中心とする“生態農業地帯”造成計画策定のための基礎調査

### 第三段階

国際協力銀行(JBIC)の“発掘型案件形成調査”への応募

“嫩江”中流域における約 10 万 ha を対象とした植樹造林を中心とする“生態農業地帯”造成案件の形成調査

“嫩江”中流域における約 10 万 ha を対象とした植樹造林を中心とする“生態農業地帯”造成に係る事業資金の確保

国際協力銀行(JBIC)の円借款の援用

(金利 0.75% 10 年据え置き 40 年償還)

### 7) 「黒龍江省嫩江流域生態モデル林建設計画」実行可能性調査コンタクトミッション」報告会の開催

開催期日：2004 年 2 月 13 日

会場：技術士センタービル

参加者数：37 名

## 第 15 回新潟「大中国展」の開催

名称：“第 15 回新潟「大中国展」”

会期：2003 年 3 月 29 日～4 月 6 日 9 日間

会場：新潟市産業振興センター（使用面積 1,500 m<sup>2</sup>）

入場者：約 6 万 9 千人

売上高：3,820 万円

事業実績：以下のとおり

- 1) 中国物産の展示販売が上記の成果を挙げたことに伴い、同国との経済交流促進に寄与した
- 2) 中国「雑技団」の場内特設ステージにおける公演、並びに“内絵瓶絵付け”・“篆刻”等の制作実演を通じ、同国との文化・技術交流の促進に寄与した

特記事項：当協会が“黒龍江省人民対外友好協会”と連携して取り組んでいる未就学児童支援プロジェクト、即ち『希望工程』に係り、黒龍江省大慶市杜爾伯特蒙古族自治县及び同市林甸県の基礎教育条件改善事業の現況をパネル展示にて紹介するとともに、“チャリティーオークション”(売上実績 21,150 円)並びに場内募金(募金実績 5,937 円)を実施したことにより、市民レベルの国際協力・共助精神の涵養に寄与した

## 訪日交流団の受入等

### 〔1〕黒龍江省外事弁公室代表団来県に係る協力

新潟受入：新潟県（国際交流課）

団構成：黒龍江省外事弁公室副主任趙爾力他、計 2 名

新潟訪問目的：友好県省 20 周年記念事業等に係る業務打合せ

特記事項：同代表団との昼食会並びに業務打合せの実施（2003 年 10 月 16 日）

〔 2 〕 “ 国家林業局代表団 ” 来県に係る協力

新潟受入：新潟県（環境企画課）

団構成：国家林業局局長周生賢他、計 8 名

新潟訪問目的：トキ保護・増殖に係り「佐渡トキ保護センター」を視察

特記事項：「新潟県トキ保護募金推進委員会」主催懇談会（2003 年 10 月 29 日）に高橋傳一郎会長他、計 4 名が参加

〔 3 〕 中日友好協会会長宋健先生来県に係る協力

招聘：新潟県（国際交流課）・ERINA

団構成：宋健会長他、計 5 名

訪問目的：北東アジア経済会議への参加（基調講演）

特記事項：宋健先生を囲む夕食会の主催（2004 年 2 月 1 日）及び、中国総領事館新潟誘致促進協議会主催懇談会への参加（2 月 3 日 高橋傳一郎会長）

地域日中友好協会との連携

〔 1 〕 栃尾市日中友好協会総会への参加

期日：2003 年 5 月 27 日

特記事項：“希望工程”支援金募金の結果 16,440 円のご協力をいただきました

〔 2 〕 柏崎市刈羽郡日中友好協会総会への参加

期日：2003 年 6 月 24 日

特記事項 1：“柏崎地域国際化協会”への統合を議決

特記事項 2：“希望工程”支援金募金の結果 12,880 円のご協力をいただきました

〔 3 〕 新発田市日中友好協会総会への参加

期日：2003 年 7 月 18 日

特記事項：“希望工程”支援金募金の結果 29,001 円のご協力をいただきました

〔 4 〕 “白音諾勒村小学校”・“嫩江”案件に係る地域日中友好協会との事前協議

1 ) いわふね日中友好協会 2003 年 11 月 18 日

2 ) 栃尾市日中友好協会 2003 年 11 月 19 日

3 ) 吉川町日中友好協会 2003 年 11 月 22 日

中国との交流を進める民間団体等との連携

〔 1 〕 “佐渡ヶ島における国際観光交流人口拡大による地域活性化可能性調査”事業への参画

事業主体：新潟県対外科学技術交流協会

調査研究期間：2003 年 5 月～2004 年 2 月

参画内容：調査研究員として今野正敏常任理事・事務局長を派遣

特記事項：調査研究受託料 65,700 円

- [ 2 ] 日中経済交流懇話会総会への参加  
期日：2003年6月18日
- [ 3 ] “第8回長岡アジア映画祭”開催に係る協力  
事業主体：長岡・市民映画館をつくる会（会長高橋芳昭）  
協力内容：当協会のWebサイトにて広報  
<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/03nagaoka-asian-film.htm>
- [ 4 ] “地球市民フォーラムにいがた”開催に係る協力  
事業主体：CSO連絡会・にいがたNGOネットワーク  
開催期日：2003年9月15日・16日  
協力内容：同フォーラムのゲストスピーカーとして今野正敏常任理事・事務局  
長を派遣
- [ 5 ] “外国人のための弁護士による無料法律相談会”開催に係る協力  
事業主体：新潟県弁護士会・新潟県人権擁護委員会  
開催期日：2003年11月15日  
協力内容1：当協会のWebサイトにて広報  
<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/2003bengo-soudan.htm>  
協力内容2：地域日中友好協会及び会員に電子メール・FAXにて広報
- [ 6 ] “長岡大中国展”開催に係る協力  
事業主体：テレビ新潟放送網  
会期・会場：2003年11月26日～11月30日 ハイブ長岡  
協力内容：名義後援
- [ 7 ] 映画“延安の娘”上映に係る協力  
事業主体：新潟・市民映画館「シネ・ウインド」  
協力内容：当協会のWebサイトにて広報  
<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/en-an.htm>
- [ 8 ] “岡山県日中懇話会”新潟訪問団との懇談  
事業主体：岡山県日中懇話会（会長：大藤真 事務局：岡山県国際課）  
懇談期日：2003年12月5日  
懇談内容：当協会の活動内容等について説明（奥村俊二理事長他、計3名対応）
- [ 9 ] 新潟県対外科学技術交流協会総会への参加  
期日：2004年3月5日

## (社)日中友好協会との連携

### 〔1〕中国への公費留学生公募事業との連携

公募期間：2003年11月4日～2004年2月16日

連携内容：当協会のWebサイトにて広報

<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/2004ryugaku-p01.htm>

付記：計5件の電子メールによる問い合わせ、並びに1件の応募がありました

### 〔2〕その他

1) “日本と中国”の購読

2) 正会員・幹事の推薦(2004年3月22日)

被推薦者：巾昭常任理事

3) 日常業務連絡

## 新潟県との連携

### 〔1〕新潟県トキ保護募金推進委員会への参画

主管：新潟県(環境企画課)

参画内容：同委員会総会への参加

期日：2003年5月27日

### 〔2〕新潟県中国交流推進戦略会議への参画

主管：新潟県(国際交流課)

参画内容1：第四回会議への参加(2003年9月11日 議事：黒龍江省との友好提携20周年を踏まえた今後の交流のあり方について、他)

参画内容2：第五回会議への参加(2004年3月19日 特記事項：春日健一常任理事が“黒龍江省嫩江中流域生態保全林・生態農業地帯造成協力事業”についてプレゼンテーション実施)

### 〔3〕“新潟県・黒龍江省友好県省提携20周年記念新潟県行政訪問団”への参加

主管：新潟県(国際交流課)

団長：平山征夫新潟県知事

特記事項：高橋傳一郎会長が参加(2003年11月2日～5日)

### 〔4〕“新潟県・黒龍江省友好県省提携20周年記念式典・記念講演・セミナー”等への参加

主管：新潟県(国際交流課)

期日：2003年11月12日

特記事項：セミナーにおいて中山輝也理事が“三江平原から未来の交流を求めて～地域間交流の過去と将来～”と題して報告

〔 5 〕 “ にいがた連携公開講座 ” ( 第 19 回講座 ) 開催に係る協力

主管：新潟県立生涯学習推進センター

期日：2003 年 12 月 13 日

協力内容：同講座の意見発表者として今野正敏常任理事・事務局長を派遣

#### 新潟市との連携

〔 1 〕 新潟・哈爾濱友好市民の会への参画

主管：新潟市（国際課）

参画内容：同会第 22 回総会（2003 年 4 月 12 日）に際し、“希望工程”への支援を呼びかけるパンフレットを配布

〔 2 〕 新潟市立内野中学校総合学習（国際理解）への協力

期日：2003 年 5 月 8 日

協力内容：同校二年三組四班（6 人）の事務所訪問を受け、今野正敏常任理事・事務局長が“日中関係史”と“新潟県における中国との交流”について講話

〔 3 〕 “ 中国文化に親しむ日 ” 実行委員会への参画

主管：新潟市（国際課）

事業受託：新潟市国際交流協会

実施期日：2003 年 10 月 13 日

実施内容：太極拳演武・二胡コンサート・中国語スピーチコンテスト・他

〔 4 〕 新潟・哈爾濱経済技術交流促進協会への参画

主管：新潟市（産業企画課）

参画内容：同協会 Web サイトのコンテンツ制作を有償受託（216,000 円）

“ 哈爾濱投資ガイド ” <http://www.ncipd.jp/harbin/toushi/toushi01.html>

“ 哈爾濱企業情報 ” <http://www.ncipd.jp/harbin/kigyuu/kigyuu01.html>

〔 5 〕 哈爾濱市外事弁公室主任を迎えての懇親会への参加

主管：新潟市（産業企画課）

期日：2004 年 2 月 10 日（奥村俊二理事長が参加）

#### その他

〔 1 〕 株式会社ニイハル株式の処分

第一回理事会（2003 年 5 月 29 日開催）の承認を受け、10 株（額面 50 万円）を額面の 5 %（25,000 円）にて同社代表取締役栄森秀一氏に有償譲渡しました

〔 1 〕“ BCMS ” の立ち上げ

中国企業との提携を探っておられる経営者の皆様に確かなビジネスチャンスを提供するサービスシステム（Business Chance Making Service = “ BCMS ”）を新たに立ち上げました。

広大な中国を対象に最適な提携先を探ることは、大変な困難を伴います。

当協会が提供するサービスは、インターネット上の中国企業情報を基に中国側提携先と密接な連絡をとった上で求めておられる提携先を効率的に探し出し、ご提示するシステムです。

概要

1．基本情報提供サービス

提供情報

提携先候補企業に関し以下の情報をご提示します

1)候補企業リスト

2)候補企業各々の概要

\* 企業名称・住所・連絡先・主要業務・製品並びにその画像

納期：ワーキングデイ 7 日ないし 10 日

料金：ご依頼件数 1 件につき情報提示料金 4 万円

（ご依頼件数は、製品あるいは部材など 1 品目を 1 件とします）

2．付加サービス

提供情報

基本情報に基づきご依頼者のご協議のうえ、中国側提携先に照会しその結果について以下の情報をご提示します

1)該当企業の基本情報

\* 企業名称・住所・連絡先・主要業務・該当製品並びにその画像についての現地再確認情報、並びに、創業年・企業形態・資本金・代表者名・従業員数・主要取引銀行

2)該当企業の詳細情報

\* 合作意向の有無・対外貿易経営権の有無・直近年度財務状況・高級管理人員・企業組織図・製品販売先

納期：ワーキングデイ 15 日ないし 20 日

料金：着手料金 1 万円 + 情報提示料金 5 万円

（着手の結果情報の提示に至らない場合、情報提示料金は無料とします）

3．現地商談関連サービス

提供情報

現地商談を希望される場合、以下のサービスをご提供します

1)該当企業のアポイントメント取得

2)現地アテンド者及び現地通訳・移動手段・宿泊などの手配

納期：ワーキングデイ 15 日ないし 20 日

料金：着手料金 1 万円 + 手配料金 3 万円

\* 着手の結果、上記 1) 及び 2) が成立しない場合、手配料金は無料とします。

\* 手配料金には、現地アテンド者と現地通訳の person 費並びにその実費、移動手段及び宿泊の実費は含みません。これらの費用はご依頼者の負担となります。

\* 現地アテンド者と現地通訳の person 費並びにその実費、移動手段及び宿泊の実費につきましては、見積書をご提示いたします。

#### 詳細

当協会の Web サイトを参照して下さい

<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/bcms01.html>

#### 実績

哈爾濱の某企業から引き合い 1 件（鎌田佳和常任理事経由）